

## No. 2396

### 芽吹きと富士の輝きをお供に 三国山・鉄砲木ノ頭

実施日 2009年 4月12日(日)

天候 晴

リーダー 涌井 良明

参加者 吉田伊勢次郎、佐藤金治、一柳昭、山口駿三、岩井康子、伊東勝昭、馬場清士、涌井良明、小村井好枝、金本英雄

ゲスト(岡田) 計 11名

費用 利デ-バス2,300円

大月 富士吉田 1,980円

富士吉田 籠坂峠 840円

平野 富士吉田 710円

交通費 計 5,830円

タイム 富士吉田駅(バス 8:48)籠坂峠(9:18 ~ 9:25)アザミ平(10:10 ~ 10:15)大洞山(11:00 ~ 11:01)三国山(11:55 ~ 12:30 昼食)鉄砲木ノ頭(13:05 ~ 13:15)切通峠(13:50)高指山(14:20 ~ 14:25)下山分岐(14:30 ~ 14:32)平野バス停(15:20 ~ 15:55)富士吉田駅(16:32)

薄曇りの籠坂峠を後に道標に従い舗装路をゆるく登り、公園墓地を通り抜けると、三国山入口に導かれる。入口には自転車等の乗入禁止のための杭とともに、人も進入禁止のように倒木が塞いでいた。火山灰の道は脚に優しい感触が伝わるが悪天候時には厭な道になるかも知れない、1,115mの籠坂峠か

ら標高差 300 m 足らずなので、緩い登りをゆっくり歩く、この辺りの標高では芽吹きも全く始まっておらず、時折聞こえる鳥のさえずりも一声だけ、あまり慰めのない道だ。但し、ゆっくりでも緩くても登りは登り、汗も出始める。前方の視界が開けるとアザミ平であっ



た、向かう三国山方面がこんもり盛り上がりを見せている。

周りが開け

ると多少気分も良くなり、振りかえるとまだ白装束の富士山がそのデカイ姿を見せてくれている。



それほど急ではない登りを 80m ほど高度を上げて 1366 m 峰を越して今日の最高点 1368m の大洞山に着く、展望は無いが、裸樹林を透かして富士の姿が見られた。

相変わら

ずの緩めの下りと登りで檜ノ木山に着くが目印類はな何もなかった。

ツナ坂峠付近はブナ林の明るい林相で気分が良い所だ。分岐する道が横切っているのだが、あまり踏まれていな



いようだった。その先を緩く登ると三国山で樹林の中の小広く明るい感じの山頂で、先客はファミリー



組だけ、静かな雰囲気の中、樹林越しに白富士に覗かれながら昼食

となった。

道は山頂から鋭角に北に向かって下る、樹林の急降下 160m 程で舗装路が横



切る三国峠を過ぎて鉄砲木ノ頭の登りになる、ススキの原の切り開きを登るが火山灰状のザレで多少滑りやすい。秋であれば富士にはススキが良く似合うということになるのだろう。広々した山頂は立派な山中諏訪神社奥宮があ



り、コース随一の展望台で富士山と山中湖が素晴らしい。

ここからはまた緩い傾斜の道を行くが右側の丹沢方面からの風が心地よく感じる、暑い季節が迫りつつあるのを予感させる。

バイケイソウの群落で久し振りに緑を

見て、下り着いたところが切通峠で、高指山 30 分の道標を見る、先に進み 2 つ目の平野への分岐で、先行したこぶし会トレイルラン組と合流、有志のみ高指



山へ向かう、短いが今日一番の急登の先が高指山だったが、朝からお供をしてくれたフジサンはお役御免とのことで霞の中に引き下がっていた。

分岐までかけ下り、下山を始めていた先行組を追って下る。別荘地になったところから、合流して午後の陽射しを暑く感じつつ平野バス停へ、のんびりとゆとりの待ち時間を楽しみ、ガイド付き路線バスで富士吉田へ、電車連絡も良く大月から直帰組と寄り道組、それぞれに帰宅した。

白い富士と好天に感謝、苦も無く歩いてくれたメンバーにも感謝です。

季節を変えて違う雰囲気を楽しみたいコースでもあった。

(記・涌井 良明)

(写真提供・涌井良明)

